

令和6年能登半島地震 災害対策ニュース

現地住民「一日も早く仮設住宅を建てて」

全木協が応急仮設建設予定地を視察

2月17日、全国木造建設事業協会（全木協）は実際に大工就労者が金沢駅前のホテルから建設現場まで要する時間と道路状況を検証するため、朝6時に宿泊予定ホテル（金沢片町エリア）を出発し、現状における最大規模の団地（計268戸建設予定・2/19時点）町野グラウンドゴルフ場に車で向かいました。※右地図・赤いルート

○羽咋市以降は渋滞や道路陥落も

出発から20分ほどで金沢から奥能登に向かう自動車専用道路「のと里山海道」へ。以前は警察や緊急車両を頻りに目にしていたのですが、現在はさほど見当たらず一般車が増え、全体としても空いているという出だ



のと里山街道は片側車線が陥落し片側通行に(能登方面のみ通行可)



のと里山空港周辺は断水も改善

しになりました。それから20分ほどで羽咋（はくい）市に入ると状況は変わり、渋滞あるいは道路が崩れているところが出始め、スピードを出せない厳しい状況が続きました。

出発から1時間ほど経ち、大型バスを使う場合に休憩ポイントとして想定した「西山PA」に到着。売店は閉鎖しているもののトイレの水も通っており、自販機、喫煙所もあります。



大工工事の開始は3月18日から 全建総連とJBNで確認

2月16日午前、全建総連はJBNと仮設住宅建設について協議。全建総連・小倉書記次長、高橋住宅対策部長、JBNからは久原副会長、坂口事務局長が参加し、生コンと碎石の調達目途がたちつつあることから、「大工工事の開始を3月18日」とすることで確認しました。

詳細は、近日中に発文書でご案内します。

■建設場所

町野グラウンドゴルフ場、南志見多目的グラウンド

■大工工事の開始

3月18日から

■大工の必要人工の見込み

120人/日(100戸×1.2人)

さらに1時間 10分ほどで「のと里山海道」を降りて、「のと里山空港」に到着。「のと里山空港」は現在、能登～羽田間で週3往復運航されており、トイレも自販機も稼働しています。一方、1階の売店やレストラン、レンタカー店は休業中となっています。

※「のと里山海道」2/17時点では越の原 IC～穴水 IC 間 (3.7km/3月中旬までに輪島方面通行可能予定) で通行止めです。

○往路 金沢～町野間で3時間20分

さらに1時間10分ほど車を走らせ、出発から実に「3時間20分後」、ようやく建設予定地である「町野グラウンドゴルフ場」に到着。

現状は、断水しているため、この町野スポーツ施設は地域住民への「入浴施設」として利用がされ、運営する自衛隊のベースキャンプとなっています。写真の通り、広大な土地のため、建設予定地として全く問題ありませんが、気になるのは海に近いためか気温が低いということです。

また、近隣の状況としては「家にひと気がない」。もちろん家屋が大きく倒壊しているものもありますが、「生活感をあまり感じない」状況で、人がいたとしても自分の家に荷



町野グラウンドゴルフ場は敷地も広大 (手前は駐車場部分)



自衛隊が駐留し被災者支援(この場所も退去後に建設予定)



近隣はひと気がない状況

物を取りにきているだけといった様子でした。現場確認をしていると管理事務所から受付を担当されている女性が出てきて、目的を説明したところ、自分自身も被災者で「自分の家ではようやく今週の水曜日に水が出るようになったが多くの人はまだ断水が続いている。この地域の住民たちのためにも1日も早く仮設住宅を建ててほしい。みんなが待ち望んでいてとても期待している。仮設住宅が建たなければ、みんなこの町から離れていってしまう」と切実な思いを語ってくれました。

○海岸沿い道路はがけ崩れで迂回が必要

続いて、町野から20分ほど離れた、107戸建設予定の南志見多目的グラウンドへ向かいました。

町野グラウンドゴルフ場から南志見多目的グラウンドまでは、山を越えれば15分で行ける場所ですが崖崩れが発生しているため大きく迂回して向かいました。

※GoogleMap上では通行可能となっていても通行できない場所もありますので注意が必要

通常の時間の倍の30分ほどをかけて到着。多目的グラウンドの向かいの施設は「輪島市農村環境改善センター」。今は南志見公民館南志見出張所と姿を変え、倒壊した家屋からの行方不明者を探す、全国から応援にきた都道府県警察や災害救助犬のベースキャンプとなっていました。

こちら近隣の家屋の倒壊状況は厳しくな



海岸沿いはがけ崩れで通行止め



南志見多目的グラウンド(写真上)、公民館出張所(写真下)

っています。多目的グラウンドは先ほどの町野の比べると狭くなり、写真のとおり、グラウンドは水はけが悪い状況となっていました。

○小学校校舎部分は液状化で地盤沈下

続いて、107戸の建設が予定されている鳳至（ふげし）小学校へ向かいました。



輪島市街地の道路も厳しい

地図上では近いように見えますが、こちらでも大きく迂回が必要のため1時間30分かかります。



小学校グラウンドは現在、被災者の駐車場に(写真上)、自衛隊も駐留(写真下)

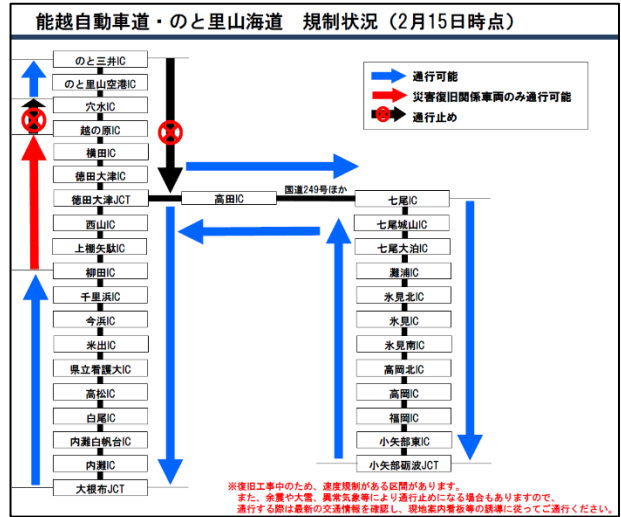
校舎部分は液状化により地盤が沈下。こちらにも現在は自衛隊や各都道府県自治体から応援に入った職員のベースキャンプとして利用がされていました。

○復路 鳳至小～金沢駅まで2時間30分

復路は、徳田大津JCTまでは下道を走り、徳田大津JCTからは再び「のと里山海道」に乗り、2時間30分ほどで金沢駅前に到着しました。

今回の検証で、往路については、のと里山海道のほとんど開通しているものの工事箇所が多く減速して進む区間が続き、休憩を2回(西山 IC10分、のと里山空港 20分)入れた場合には3時間20分かかります。

復路については、休憩を1回(なかじまロマン峠10分)入れ、2時間30分かかるといことが分かりました。



トイレ等は問題なく利用可能(西山 PA)



奥の広場・テニスコートも建設予定地(町野)



プールサイドの施設(町野)



町野から一番近いコンビニ(約30分)



輪島市の倒壊家屋



南志見周辺の土砂崩れ



公民館併設の体育館(南志見)



道路が陥没(南志見グラウンドそば)



1階部分が沈下(鳳至小)



火災に遭った朝市は消炭の匂いも(輪島市)